

第 6 8 回 仙 台 市 中 学 校 総 合 体 育 大 会 柔 道 競 技 要 項

1. 主 催 仙 台 市 中 学 校 体 育 連 盟
2. 主 管 仙 台 市 中 学 校 体 育 連 盟 柔 道 専 門 部
3. 目 的 仙 台 市 内 中 学 校 生 徒 相 互 の 親 睦 と 柔 道 技 能 の 向 上 と 普 及 を は か る。
4. 日 時 令 和 元 年 6 月 8 日 (土) ～ 1 0 日 (月)

6 月 8 日 (土)	6 月 9 日 (日)	6 月 1 0 日 (月)
<p>【男子・女子 団体予選リーグ】</p> <p>7 : 3 0 役員集合</p> <p>8 : 0 0 開場・受付</p> <p>8 : 1 5 ～ 非公式計量</p> <p>8 : 4 0 ～</p> <p>団体戦公式計量・服装検査</p> <p>9 : 1 0 ～ 監督会議</p> <p>9 : 5 0 ～ 開会式</p> <p>1 0 : 0 0 ～ 競技開始</p> <p>男子・女子団体予選リーグ</p> <p>1 2 : 0 0</p> <p>男子・女子決勝トーナメント 抽選</p>	<p>【男子・女子 団体決勝トーナメント】</p> <p>7 : 3 0 役員集合</p> <p>会場準備・点検</p> <p>8 : 0 0 開場</p> <p>8 : 2 0 ～ 監督会議</p> <p>9 : 0 0</p> <p>男子・女子団体 決勝トーナメント戦</p> <p>団体戦表彰式</p> <p>決勝トーナメント終了後</p> <p>個人戦受付</p> <p>8 : 0 0 ～ 1 0 : 0 0</p> <p>個人戦非公式計量</p> <p style="text-align: center;">表彰式後 3 0 分間</p> <p>個人戦公式計量・服装検査</p> <p style="text-align: center;">非公式計量終了後</p> <p>監督会議</p> <p>個人戦公式計量・服装検査終 了後</p>	<p>【男子・女子個人戦】</p> <p>7 : 3 0 役員集合</p> <p>会場準備・点検</p> <p>8 : 0 0 開場</p> <p>8 : 2 0 ～ 監督会議</p> <p>9 : 0 0 男女個人戦</p> <p>1 3 : 3 0 ～ 閉会式</p> <p>1 4 : 0 0 ～ 会場撤去</p>

5. 会 場 宮 城 県 武 道 館 (仙 台 市 太 白 区 根 岸 町 1 5 - 1 T e l 2 4 9 - 1 2 1 6)

6. 参 加 資 格 ① 仙 台 市 内 の 中 学 生 で , 柔 道 修 行 者 で あ る こ と。

② 個 人 情 報 の 取 り 扱 い に つ い て 次 の こ と に 同 意 す る こ と。

大会主催者は個人情報保護に関する法令を遵守し、取得する個人情報について適正に取り扱う。取得した個人情報は競技大会の資格審査、競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成、掲示板、報道発表、記録発表等、競技運営および協議に必要な連絡に利用する。

7. 種 目 ① 男 子 団 体 戦

各校 1 チーム出場。1 チーム 5 名とし、**体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。**(補員 3 名を登録できる)

② 女子団体戦

各校1チーム出場。1チーム3名とし、体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。(補員2名を登録できる)

③ 男女個人戦 ①エントリーは各階級4名以内とする。

男子 50 55 60 66 73 81 90 90超

女子 40 44 48 52 57 63 70 70超

8. 競技規則

国際柔道連盟試合審判規定(2018~2020)及び国内における「少年大会特別規定」、今大会申し合わせ事項によって行う。

(1) 団体戦

① 男子は1チーム5人制、女子は1チーム3人制により試合を行う。

② チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。

※ 選手変更は、その都度監督が所定の用紙に記入し、以下の通りとする。

ア 委員長に提出。

イ 記録本部に提出する。

ウ 試合会場のオーダー用紙を顧問が訂正。

※ ただし提出締め切りは、以下の通りとする。

ア 試合開始の1試合前までとする。

イ、ウ 提出締め切りは、試合が始まるまでとする。

③ 試合時間は3分間とし、代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。

④ 優勢勝ちの判定基準は、「一本」「技有」又は「僅差(『指導』の差2)」とする。

⑤ 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

「一本」 = 「反則勝ち」 > 「技有」 > 「僅差」

⑥ リーグ方式の順位は、次の方法によって決定する。

ア チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。

イ アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。

ウ イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。

エ ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。

オ エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。

カ オにおいて同等の場合は、1名による代表戦を1回行い、決勝トーナメント方式への出場チームを決定する(3校同等の場合は、代表者3名によるリーグ方式を行う)。

⑦ トーナメント方式の順位は、次の方法によって決定する。

ア チーム間における勝ち数による。

イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。

ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。

- ⑧ 代表戦は任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差が無い場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦（ゴールデンスコア）で新たに指導差がついた時点で勝敗が決する。

(2) 個人戦

- ① 各階級トーナメント方式とする。
② 試合時間は3分間とし、延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。
③ 勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」又は「僅差（『指導』の差2）」とする。得点差が無い場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は団体戦と同様とする。

(3) 柔道衣は白色とする。

(4) 講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。

9. 試合方法 (1) 団体戦

男子・女子は予選をリーグ戦で行い、各組の1位と2位のチームで決勝トーナメントを行う。ただし、参加チーム数によっては全参加チームによるリーグ戦を行う。

(2) 個人戦

男女ともトーナメント方式で行う。ただし、出場選手が3名のときはリーグ戦とする。

10. 計量及び柔道衣点検

(1) 計量

- ① 公式計量の前に非公式計量を行うことを認める。
② 非公式計量では指定時間内に自由に体重を計測できる。
③ 公式計量は指定された時間に1回とし、再計量は一切認めない。別室計量が必要なものは予め申し出ること。
④ 公式計量の服装は、男子は下穿き、女子はTシャツと下穿きの着用を認める。包帯・サポーター等の着用は、試合に出場する時と同じように身に付け点検を受けること。ただし、サポーターについては、金具等が入っているものは使用できない。使用した場合は反則負けになる。
⑤ 団体戦では登録選手全員が測定を行うこと。
⑥ 個人戦では定められた体重区分にないものは失格とする。

(2) 柔道衣点検

- ① 全日本柔道連盟柔道衣規格に合格している認証柔道衣、帯を着用すること。
② 柔道衣にはゼッケン（学校名・名字入り）を縫い付けて出場すること。
ア 布地は白とする（晒・太綾）。
イ サイズは横30cm～35cm、縦25cm～30cm
ウ 名字は上側2/3、学校名は下側1/3の割合を基準とする。
エ 書体は太字ゴシック体を基本とする。男子は黒色、女子は赤色。

オ 縫い付け場所は襟から5 cm～10 cm 下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。

カ 学校名には付けられないこと。ただし、平成30年度以前に購入していた柔道衣は例外とする。

③ 女子は上衣の下に次のいずれかを着用しなければならない。

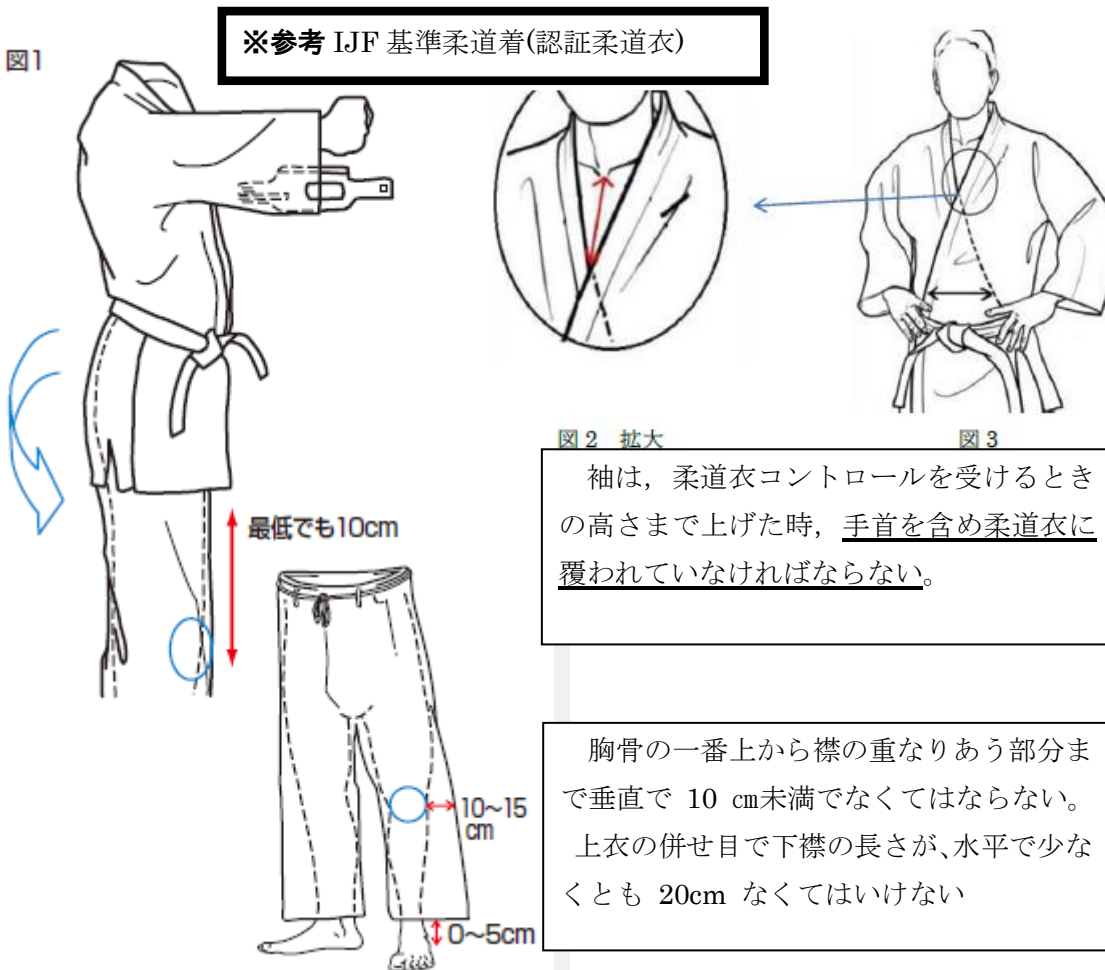
ア 相当の丈夫さがあり、下穿きの中に入る十分な長さのある白色、または白色に近い色無地のTシャツ。

イ 白色、または白色に近い無地のレオタード。

④ 柔道衣点検の際は、試合時に着けるサポーター等を着用して受けること。

⑤ 胸のマーキングは学校名・校章のみ許容する（道場名は不可）。ブランド商標以外のメッセージやイニシアルなどのマーキングは認めない。

⑥ 下穿きの下に膝下より長いロングスパッツを着用することは認めない。



製造業者マークは、最大20 cm²のサイズであれば認められる。柔道衣を着用した際に、製造業者マークが見えてはならない。

正式な国家、NOC、もしくはIJF 加盟連盟のエンブレムを左胸に固定してつけることは認められる。大きさは最大100 cm²とする。

所属名称もしくは、所属を表すエンブレムを左胸に固定してつけることは認められる。大きさは最大

100cm²とする。いかなる商業的なマーキングもつけてはならない。

11. 引率及び監督等

(1) 監督、引率は当該校の校長・教員・部活動指導員(※1)とする。ただし、部活動指導員は教育委員会設置要項のもと、以下の条件を満たしていなければならない。

- ① 満20歳以上であること。
- ② 主催者からの要望があった場合、大会運営に協力する姿勢があること。
- ③ 他校と兼務していないこと。
- ④ 中学校体育連盟の主催とする研修会を受講していること。
- ⑤ 次のいずれかに当てはまる者とする。

ア 教育職員免許法に基づく免許を有する者。

イ 公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導資格を有する者。

ウ 競技の専門性と学校教育に関する理解を有し、適切な指導を行うことのできる者。

※1 ここでいう「部活動指導員」は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者であり、学校設置者により任用されている者をいう。

(2) 部活動指導員が監督、引率をする場合、教育活動の一環としての大会であるとの観点から、「顧問または当該部活動を担当する教諭等」(※2)がチームに帯同すること。

※2 「学校教育法施行規則の一部を改正する省令」1 部活動指導員の職務 第2 留意事項(3)(4)より。

(3) 大会では外部コーチを置くことができる。ただし、令和元年度(平成31年度)に外部コーチ登録をした者のみとする。外部コーチには教員の登録を認めない。また同一人が複数校の外部コーチになることはできない。

(4) 全日本柔道連盟が示す「試合場におけるコーチの振る舞いについて」を熟読し参加すること。

(5) 審判員に準じた服装をすること。

12. 申し込み 別紙申込用紙に記入の上、**5月7日(火)17:00**までに仙台市立郡山中学校・田畑宛てにデータをC4thで申し込む。(申込書の原本は**5月10日(金)17:00**までに郡山中学校・田畑宛て**必着**)。東北学院と宮教大附属は田畑のメールアドレスに送ること。

13. 抽選会 令和元年5月15日(水) 午後3:00～ 於 仙台市立台原中学校

14. 表彰 (1) 男子・女子団体

優秀校は、男子・女子とも第3位まで表彰する。

(2) 男子・女子個人

優秀選手は男女とも第3位まで(男女とも4名)表彰する。ただし、出場人数が少ない場合には、部会で表彰人数を定める。

(詳細は大会申し合わせ事項を参照のこと)

15. その他

(1) 柔道精神に反する一選手は大会への出場を停止する。

(2) 柔道選手らしからぬ髪型(パーマ、剃り込み、染色・脱色、異常なかりあげ等)

や眉（剃り込み・剃り上げ）の認められる選手の出場は認めない。

- (3) 試合場への出入りは大会役員，監督，選手，補助員，登録した外部コーチのみとする。
- (4) 迷惑駐車・係への暴言を禁止する。今回も各学校の保護者のために，駐車券を配布予定。今回から柔道関係者は武道館側になります。駐車券がある場合も9時以降は駐車券の優先がなくなります。ご協力をお願いいたします。
- (5) 昨年度の各階級の優勝者は以下の通りである。

	団体戦		中野中学校			団体戦		七郷中学校	
	男子	50kg級	安達	附属			女子	40kg級	熊谷
55kg級		平井	五城		44kg級	佐々木		鶴谷	
60kg級		島野	柳生		48kg級	男鹿谷		中野	
66kg級		後坊	六郷		52kg級	酒井		富沢	
73kg級		佐藤	柳生		57kg級	佐々木		鶴谷	
81kg級		高橋	将監		63kg級	土井		東仙台	
90kg級		橋本	上杉山		70kg級	参加者なし			
90kg超級		尾形	郡山		70kg超級	参加者なし			